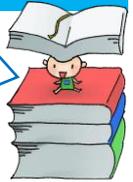


学校の1週間のけがの記録を調べて、安全ポスターや新聞を作ろう！  
～二つのことがらを調べる表を使って～（第4学年「整理のしかた」データの活用領域）

データを二つの観点から分類・整理して表にまとめ、データの特徴を読み取ったり、自分なりの結論を導き出したりすることを通して、統計的な問題解決のよさに気づき、分析結果を自らの生活や学習に活用しようとする力を育成する事例について紹介します。



課題

○保健室の先生に聞いた1週間のけがの情報に基づき「安全ポスターや新聞を作ってけがを減らすお知らせをする」という課題を設定する。

情報収集



けがを減らすために「けがをした人の記録」のどの項目に注目しますか？項目を二つ選びましょう。

どこにポスターを貼るか決めたいから、「けがをした場所」と「けがの種類」を選ぶとよいと思います。

けがをした人の記録

曜日	学年	場所	体の部分	けがの種類
月	1	中庭	足	すりきず
月	1	中庭	手	すりきず
月	5	運動場	足	切りきず
火	4	教室	うで	打ぼく

曜日、学年、場所、体の部分、けがの種類などから、二つの観点に絞って情報を取り出すことで、目的とするデータの特徴がつかみやすくなることを理解させます。



整理・分析①

○「けがをした場所」と「けがの種類」のデータを二つの観点から二次元表に整理し、データの特徴を読み取る。



データを整理してみて、どんなことが考えられますか？

けがをした場所と種類 (人)

場所	すりきず	切りきず	打ぼく
運動場	2	5	1
中庭	1	0	3
教室	0	7	5
ろうか	3	0	0

運動場でのすりきずや切りきずが多い。たぶん、体育や休憩時間に走ってけがをしている人が多いんじゃないかな？



そういえば、ぼくも運動場でおにごっこをしていて、転んで足をすりむいたことがあるよ。



全体的にみると、外でのけがが多いことが分かるよ。外での過ごし方をみんなに考えてもらって、けがを減らしたいな。

二次元表に整理したデータを見て、「数の偏りを見る」「自分の身近な生活と関わらせる」などとしてその特徴や傾向について読み取れることを話し合えます。



整理・分析②

○自分が知りたいことを解決するためにデータを見直し、どの観点を選択すれば問題解決できるか考え、自分が選んだ観点でデータを再整理し、分析する。



ぼくは、学年で違いがあるから知りたいから、「学年」と「場所」で表にまとめてみよう。



わたしは、みんながどんなけがをしたか知りたいから、「けがの種類」と「体の部分」で表にまとめてみよう。

家庭では、自分が選んだ観点でデータを整理・分析させます。学校でそれを持ち寄り、お互いに表を見て気づきを話し合い、次時のポスター・新聞づくりにつなげます。



けがの記録を表にまとめて整理して、どんな気づきがありましたか？グループで話し合みましょう。

けがをした学年と場所 (人)

場所	運動場	教室	中庭
1年	14	3	20
2年	8	0	5
3年	10	1	1
4年	7	1	0

1年生が中庭を走って運動場へ行くのをよく見かけるよ。それが原因じゃないかな？



ぼくは「学年」と「場所」で表にまとめたら、1年生の中庭でのけがが多いことが分かりました。



1年生のデータを、「場所」と「けがの種類」の二つの項目で整理してみると、さらに、くわしく調べられそうだよ。



まとめ・表現

○けがの記録のデータを使って整理分析したことを基にして、ポスターや新聞を作成する。



ぼくは、安全ポスターを作って、1年生がよく通る中庭の近くに貼らせてもらいたいな。



わたしは学年とけがの種類のデータを新聞に入れようかなあ。

算数科以外の学習と関連させ、目的に応じて選択した観点で整理・分析したデータを「安全ポスターや新聞」に表現させます。



発展

例えば、右の図のように「けがをした部分が頭部であるか、そうでないか」「けがをした場所が屋外か、そうでないか」のように分類し、2観点4項目に整理し直すことで、さらに学習を深めることもできます。

(例) けがをした場所と体の部分 (人)

		けがをした部分		合計
		頭部である	頭部ではない	
けがをした場所	屋外である			
	屋外ではない			
合計				

学校

家庭

学校

家庭